

「(仮称)松本市基幹博物館」に係る協議内容

1 申出の内容

計画の名称	(仮称)松本市基幹博物館						
行為の場所	松本市大手三丁目64番1 他24筆						
申出者	住所	松本市丸の内3番7号					
	氏名	松本市長 菅谷 昭					
設計者	住所 氏名	東京都江東区潮見二丁目1番22号	株式会社 久米設計				
	住所 氏名	松本市城西一丁目8番19号	株式会社伊藤建築設計事務所				
施行者	住所	未定					
	氏名	未定					
都市計画の地域地区等	用途地域	商業地域	その他	防火地域・準防火地域 お城周辺地区第2ブロックまちづくり協定			
景観計画の区域区分 (類型地区)	歴史的景観区域(お城地区)						
行為の期間	着手予定日	令和元年4月1日	完了予定日	令和3年(2021年)9月30日			
行為の種類	建築物		新築				
主要用途	博物館						
敷地面積	4114.97㎡						
設計又は 施行方法	規模		届出部分	既存部分	合計	構造	
		建築(築造)面積	2972.42㎡		651.85㎡	RC造、一部S造	
		延床面積	7774.86㎡		5897.40㎡	地上	3階
		高さ	17.85m		—	地下	0階
	屋上に設置する 建築設備の種類 及び高さ	高架水槽	受電設備		屋上広告物	その他( )	
		無	無		無		
	外壁等の色彩	屋根	N5 N5			仕上材 金属屋根勘合式瓦棒葺 金属屋根平葺	
		外壁基調色 (ベースカラー)	5YR9/0.5 N9			仕上材 GRCカーテンウォール RCPデザインパネル	
		外壁補助色 (アソートカラー)	N8、N4、10YR2/1、N9、10YR2/1			仕上材 RC打放し+DP-A、幕板(アルミパネル)、防 音パネル(アルミ+塗装)、屋外階段(鉄骨+DP-1)	
		外壁アクセント部分	無			仕上材	
敷地内の 植栽の 概要	植 樹	高 木		低 木	その他(地被植物)		
		カツラ、シラカシ、ユリノキ、ヒメシャラ、シヤラノキ、ソヨゴ、 ヤマボウシ、イロハモミジ、アオダモ、アオハダ		ニシキギ、ドウダンツツジ		コクマザサ、タマリユウ、水景	
	樹高(植栽時)	4.5~5.0m	2.5~3.0m	0.5~0.6m	—		
	本 数	5本		19本	—		
	面 積	7.06㎡ (下部に低木、地被類のない単木)		116.42㎡	99.04㎡		
	空地面積	1083.70㎡					
	合計緑地面積	222.52㎡					
緑化の割合	20.53%						

現況写真・完成予想シミュレーション図①



現況



イメージ  
パース

完成予想図  
(協議終了後)

現況写真・完成予想シミュレーション図②



現況



イメージ  
パース

対象建物

※この完成予想図は、協議の参考とするため事前協議申出書に添付されたイメージパースであり、確定した図面ではありません。

## 2 協議の経過

- (1) 令和元年 5月14日 景観事前協議の申出年月日
- (2) 令和元年 5月29日 松本市景観評価会 第1回意見聴取
- (3) 令和元年 6月 6日 事前協議対象行為に関する要請書の発送年月日
- (4) 令和元年 8月27日 事業者からの回答書の收受年月日
- (5) 令和元年 8月27日 松本市景観評価会 第2回意見聴取
- (6) 令和元年 9月27日 事前協議対象行為に関する要請書の発送年月日
- (7) 令和元年10月21日 事業者からの回答書の收受年月日
- (8) 令和元年10月23日 協議終了年月日

## 3 内容

### (1) 第1回要請内容及び回答

要請内容	回 答
<p>南側壁面について 骨材を研ぎだしたPC版の採用だけでは、南側壁面の単調さや圧迫感を十分には軽減できないことから、他の手法(目地や凹凸、照明など)も併せて検討願います。</p>	<p>松本市に由来の「松本てまり」の文様を参照し、文様に多くみられる「菱形」をデザインモチーフに、「菱形」が立体的に浮かび上がる型によってPC版を形成します。</p> <p>「菱形」が反復する美によってリズムカルな軽快感を生み出し、壁面の単調さと圧迫感を軽減します。</p> <p>PC版の型(凹凸)の程度は、日中の太陽光で明瞭に「菱形」の陰影が現れ、日の移ろいによって表情豊かな壁面をつくりだすよう検討します。夜間はPC版下部から照明で照らしあげ(ライトアップ)、夜間においても表情が現れるように検討します。</p> <p>PC版の表面は骨材の研ぎ出しを基本に、素材そのものの表情の豊かさの表出の検討を進めます。</p> <p>以上の手法によって、南側壁面のデザインの検討を進め、市民の深層心理に働き掛ける、親しみとなじみのあるデザインの創出を目指します。</p>

### (2) 第2回要請内容及び回答

要請内容	回 答
<p>南側壁面について 南側壁面の圧迫感については、目地や凹凸、照明などにより軽減が図られましたが、単一パネルが並ぶことによる単調さについても軽減できるよう検討願います。</p>	<p>菱形をかたどった同一のパネルを連続的に並べることで、太陽光や照明による陰影が綺麗に現れ、表情豊かで圧迫感の少ない壁面となります。光の当る角度は、季節や時刻によって多様に変化し、豊かな表情を作り出しますので、実際に出来上がった時は、決して一様で単調なものにはならないと考えています。</p> <p>しかしながら広大な南側壁面については、土手小路との一体整備の中で、街路樹を利用して分節を図るなど、様々な手法の検討を進めてまいります。</p>

### (3) 協議結果通知書の内容

協議結果
<p>南側壁面について、壁面の凹凸や照明、土手小路と一体的な植栽により圧迫感と単調さを軽減した計画が示された。</p>